



2022年11月8日

各 位

上場会社名 東急建設株式会社  
代表者 代表取締役社長 寺田 光宏  
(コード番号 1720 東証プライム)  
問合せ先責任者 財務部長 小池 淳智  
(TEL 03-5466-5061)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

2023年3月期 通期**連結**業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 289,000	百万円 4,000	百万円 4,500	百万円 3,500	円 銭 33.42
今回修正予想 (B)	305,000	3,100	4,000	4,000	38.11
増減額 (B-A)	16,000	△900	△500	500	
増減率 (%)	5.5	△22.5	△11.1	14.3	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	258,083	△6,078	△5,132	△7,459	△71.26

2023年3月期 通期**個別**業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 260,000	百万円 2,100	百万円 2,100	百万円 2,000	円 銭 19.10
今回修正予想 (B)	276,000	3,100	3,500	2,700	25.72
増減額 (B-A)	16,000	1,000	1,400	700	
増減率 (%)	6.2	47.6	66.7	35.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	243,025	△6,875	△6,314	△7,494	△71.60

## 修正の理由

### (連結業績予想)

売上高につきましては、国内建築工事において完成工事高が増加するほか、販売用不動産の売却により不動産事業等売上高が増加するため、前回予想を上回る見込みです。利益面では、販売用不動産の売却に伴う不動産事業等総利益を見込むものの、一部海外子会社における工事採算の悪化および過年度引渡し物件に係る瑕疵補修費用を見込んだことなどにより、営業利益は前回予想を下回る見込みです。また、経常利益につきましても、為替差益等の増加が見込まれるものの営業利益の減少に伴い前回予想を下回る見込みです。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却益を特別利益として見込むため前回予想を上回る見通しです。

### (個別業績予想)

売上高につきましては、連結業績予想と同様の理由によるものです。営業利益は、販売用不動産の売却に伴う不動産事業等総利益を見込むため前回予想を修正いたします。経常利益は、営業利益の増加に加えて、為替差益等の増加が見込まれるため前回予想を修正するものです。また、当期純利益につきましては、一部海外子会社に係る特別損失を計上しましたが、政策保有株式の売却益を特別利益として見込むため前回予想を修正するものです。

なお、2023年3月期の配当予想につきましては、前回公表値から変更はありません。自己資本配当率(DOE)4.0%以上を目標とした配当方針に基づき、1株当たり年間配当金36円(中間配当金18円、期末配当金18円)を予定しています。

(注) 上記の予想数値は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上